

大名美恵子です

東海村村松 2401-2 電話・FAX 284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

「幼稚園の統廃合はやめて！」のたくさんの声があちこちから・・・。

村はこのまま統廃合を進めていいのでしょうか。村が先に決めてしまったことを「了解してほしい」と、かぶせるように説明するのが本当に村民のための政治と言えるのでしょうか。統廃合ありきではなくぜひもう一度関係者と話し合っ、合意が得られる解決が重要です。

「災害時の子どもの受け渡し訓練では、幼稚園まで歩いて迎えに来るようにと言われた。須和間から村松幼稚園まで歩いて迎えに行かないです」と、悲痛な声が寄せられています。



議会への説明はもっと早い段階で行われるべきでした!

議会が説明を受けたのは9月25日の午後です。それまでに各幼稚園への説明が始まっていました。まるで議会は口出ししないで、と言われているようです。議決案件ではないとしても、議会軽視はとんでもありません。

村は、3月議会時には、障がいがある方や難病患者さんなどへの補助金をやはり急に、関係者との話し合いを十分行わずにバツサリと切ってしまいました。このような住民サービスの大幅後退を村の一方的判断で次々行うことはやめさせなければなりません。行政の自己満足ではなく、住民とともに作る村政であってほしいです。

9日、議会原特委で東海第二発電所の工事の状況を視察



発電所内には、カメラやスマートフォンなどをもちこむことはできませんので、視察時の写真はありません。左写真は、原電本社前での「東海第二原発再稼働ストップ」要請を、全国の方々と行った時のものです。左下は、ネットで公開されていたものです。

工事に要する人員は、現在、毎日約1,500人が敷地内に入っているそうです

視察の際の原電の説明では、「2018年中に一連の許認可を取得。現在発電所の安全性向上対策工事を実施中。

2019年に特定重大事故等対処施設建設の申請を行い、現在規制委員会が審査中」とのことです。

工事の状況では、「安全対策施設の設置に向けて、地盤改良、土留め壁造成工事を実施中」。防潮堤設置のための地盤改良では、表層改良と薬液注入が行われています。

※薬液注入工法は、土中に管を挿入し、水ガラス系の薬液をポンプで圧入・固化させるとのこと。

「引き波時の海水取水の確保工事では、取水口を覆うように前面にカーテンウォールを設置、その前面海底に貯留堰を設置する。現在、貯留堰の鋼管矢板の打設を実施中」。

※貯留堰には2,378㎡を30分貯められる計算だそうです。(押し波、引き波で3分の確保が必要の所)

「原子炉建屋では、外壁工事等、建屋の周囲で実施する①ブローアウトパネル改造工事 ②建屋外壁竜巻対策工事などのために、タワークレーン、ジブクレーン及び建屋まわりの作業用の足場を設置。

ごく一部の工事ですが、この壮大な工事状況からは「絶対再稼働するだろう」と思われます。6市村首長にも是非見ていただき、「こんな工事が必要な原発は動かさない方が良い」と確信していただきたいです。